口いっぱいにショウガを味わう鍋つゆの素
「清流四万十 生姜鍋つゆ」全国で好評販売中！

生産量日本一の四万十町産ショウガを使った新商品「清流四万十生姜鍋つゆ」が日本食研ホールディングス(株)から全国で販売中です。商品開発は昨年８月から企画し、四万十生姜部会員と日本食研担当者で試食会やPR動画の撮影等を重ねてきました。だししょうゆ味の鍋つゆで、ショウガをさらに加えて具材として食べる「生姜鍋」を提案。ショウガを合わせて購入いただくため、鍋つゆは青果売り場で販売しています。

四万十生姜部会の田村皓哉部会長は「ショウガの消費量は年々減少しており、チューブなどが主流となっています。この商品と食べ方の提案で生のショウガのおいしさを知ってもらい、消費拡大につなげたい」と話します。県内ではサニーマートやその他量販店などで販売中です。ぜひご賞味ください。

田村部会長（後列左から２番目）と四万十生姜部会の皆さん

JAグループ高知のTV番組
RKC高知放送「こうちeye」内

10月から、JAファーマーズマーケットとさのさと・とさのさとアグリコレットを起点に、注目の逸品や旬の農畜産物を紹介する新番組「あぐりtimeマルシェどき！」の放送が始まりました。生産者の想いもお届けしています。ぜひご覧ください♪

【放送期間】
令和６年10月～令和７年３月

【放送日時】
毎月第１木曜日 15:50～16:45
「こうち eye」内で放送

過去の放送分はJAグループ高知のYouTubeチャンネルからご覧いただけます。

11月 2024年 JA健康寿命100歳プロジェクト
～薬剤師のワンポイントアドバイス～

ノロウイルス感染を予防しましょう！

こうぐりをご覧の皆さん、今年も残すところあと2カ月余りとなりました。
この時期になると思い出されるものに「ノロウイルス感染」があるかと思います。
ノロウイルスによる感染は一年を通して起こりますが、１１月頃から感染が増え始め、１２月から1月頃に最も増加する傾向があります。
ノロウイルスによる感染は「感染性胃腸炎」の一種で、感染から発症するまでの時間は、およそ24～48時間あります。主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などです。
主な感染経路は経口感染で、感染した人が調理した食べ物を食べた場合や、感染した人の排泄物からその人の手を通じる場合、感染した二枚貝を生や十分に加熱しないで食べた場合などにノロウイルスに感染することがあります。
感染予防には手洗いを十分行ってください。手洗いは、手に付着したノロウイルスを減少させる効果的な方法です。調理器具などは洗剤で十分に洗浄してから、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤などを用いることでノロウイルスを減少させることができます。
皆さんが、より健やかな日々を過ごせますように。

薬剤師 矢嶋 幸一（メディカル調剤株式会社）

厚生労働省のホームページには、ノロウイルス感染予防のチラシがあります。ぜひご覧下さい。
https://www.mhlw.go.jp/content/000838754.pdf

高西 地区から こんにちは

四万十地区より

運の良さが
カギとなった
「長寿くじ引き」

たんぽぽ大運動会

四万十地区女性部

9月12日、四万十地区女性部はたんぽぽ大運動会を開催しました。52人が参加し、3チームに分かれて、役員が考えた5つの競技で競い合いました！ 1位のチームには景品が用意されており、とても盛り上がりました。競技のひとつ「長寿くじ引き」は、各チーム10人が順番に袋に入っている紐を1本引っ張り、10本つなげて1番長いチームが勝ちというゲームで、引き当てる運が試されることもあり、紐を引っ張るときは会場中も緊張感に溢れていました！ 最後は、ビンゴ大会で締めくくり、楽しい大運動会となりました！😊

窪川地区より

ナレーション撮影を
しています！

四万十ポークが
キリンビールのCMに登場！

窪川養豚協会

9月27日、窪川養豚協会の皆さんがキリンビールのCM撮影に参加をしました！ 天気にも恵まれ、とても良いロケーションとなりました✨

撮影では、四万十ポークを炭火で香ばしく焼き、食べながらグイッとビールを飲み、最後にはみんなで「高知の『おいしい』を元気に！たっすいがは、いかん！」と笑顔で呼びかけました😊

CMは下記の日程で放送されますので、皆さん是非見てください！

放送期間：2024年11月9日（土）～ 12月7日（土）
　　　　　2025年1月25日（土）～ 2月15日（土）
放送時間：毎週土曜日 20：54
　　　　　「RKCニュース」内の天気予報直後

津野山地区より

🍆今年で19年目🍆

久光 奈都子さん（85）（ひさみつ なつこ）

津野山経済センター「輝」ができてから野菜共選作業に来ていただいている奈都子さん。仕事が楽しいのは仲間や職員に会えるからだそうです！今年で85歳を迎えますが、毎日元気いっぱいです！ 趣味は踊り、カラオケ、お酒を飲むこと😊 人に会えること話しをすることが大好きななっちゃん☆これからもよろしくお願いします！！

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

これからもさまざまな活動に取り組んでいきます！

1 四万十地域

生姜部会役員「京浜視察研修」

四万十生姜部会は、9月24日〜9月25日にかけて、京浜地区の市場および産地の視察研修を実施しました。東京多摩青果㈱では市場内の売り場を中心に案内いただき、ショウガを含めた園芸品目の販売状況等の説明をいただきました。

また、横浜丸中青果㈱では、取引先である他の京浜市場担当者（東京青果㈱・東京新宿ベジフル㈱・東京多摩青果㈱）に消費地会議に参加いただき、京浜市場の販売情勢報告および産地の栽培状況等について意見交換を行いました。産地からは今後ショウガ生産者の経営が成り立ち、拡大できるよう市場担当者に販売要請を行いました。

産地視察では、茨城県の「JAやさと」管内にて、ショウガのほ場を見せていただきました。令和6年産については、栽培初期から定期的な降雨があり、概ね順調な生育とのことでした。栽培方法等の基本的な考え方が四万十地域とは異なりましたが、地域の特色を活かした農業経営は大変勉強になりました。

今回の視察研修では、市場担当者と直接意見交換を行う貴重な機会となり大変学びの深いものとなりました。今後もショウガ産地の発展に向け、活発な部会活動を継続していきます。

広大な放牧地を見学しています。

2 津野山地域

大分県放牧地視察！！

津野山畜産振興会は、9月24日に大分県豊後市にある（有）冨貴茶園で視察を行いました。

冨貴茶園では元々お茶の生産を行っており、昨今ペットボトル茶の普及などによる需要の低下を受け、茶園跡地、雑木林などを放牧地に造成し、22ヘクタールの広大な放牧地を有しています。魅力的なのは、自力建設の簡易牛舎のみで周年放牧を行い、夏期には牧草をメインに、草量が低下する冬期は稲WCSを与え、分娩から子牛出荷までの全期間を放牧地で飼養、牛の体調や草地管理に気を使いながらも、一年を通して低コストで高収益放牧経営を実現している所です。

飼養されている牛たちは、全頭自家保留された牛で人懐っこく、ストレスなく育ち、体つきは大きく、四肢も太く、余分な脂肪がないとても力強い牛でした。

当地域では、耕作放棄地や雑木林などの土地が多く、生産者の高齢化も進んでいます。今回の視察で得た事を、津野山畜産振興会として今後目指す姿として取り組んでいきたいと考え、参加した生産者たちはそれぞれの想いを語り合い、とても有意義な視察となりました。

3 四万十地域

四万十エコ栽培米生産部会愛媛県視察

視察での学びを活動へつなげていきます！

9月10日、JA高知県四万十エコ栽培米生産部会はJAえひめ未来あぐりセンターで現地視察を行い、部会員10人が参加しました。

現地では愛媛県のオリジナル品種「ひめの凛」とブランド米「新居の恵」栽培の取り組みについてお話を伺い、その後ほ場へ移動し、現在の成長の様子などを確認しました。

また、地域産のお米を加工・販売している直販所も視察しました。これからの部会の取り組みにつなげていこうと思います。

5 四万十地域

秋の交通安全運動

交通安全を呼び掛けました。

9月20日、窪川警察署で秋の交通安全運動出発式とドライバーサービスが行われました。四万十支所では窪川警察署と協力し、県立窪川高校の生徒や役場等と共に毎年交通安全を呼び掛けています。管内でも特に交通量が多い国道56号線沿いで、JA共済のリフレクターキーホルダーやティッシュ等の手渡しや声掛けをしました。秋の交通安全運動は9月20日から9月30日まで実施されました。

4 津野山地域

聞こえの相談会

津野山経済課・梼原支所において、フジ医療器による「聞こえの相談会」を開催しました。

機会があればぜひお立ち寄り下さい！

聞こえ方の悩みは人それぞれ。誰かに気軽に相談できることではありませんよね。そこで専門家のアドバイスや、機器を使った聞こえ方の調査結果で、今後の取組方法を決めることができます。「聞こえの相談会」は定期的な開催を予定しています。気になる方は気軽においでてみてください！

6 津野山地域

県域ナス部会現地研修会へ参加

たくさんの学びを得た研修会となりました！

9月19日、津野山なす部会は四万十市西土佐で開催された現地研修会へ参加しました。当日は猛暑日に迫る暑さの中、露地・簡易雨よけの生産者ほ場を見せていただき、最後に西土佐農業公社での雨よけほ場を見学しました。

今年は例年にない酷暑で、西土佐の各ほ場でも高温の影響が見られ、参加者は暑さ対策に何を使用したか？どうやって樹勢管理を行ったか？など活発に意見交換を行っていました。

会場に戻ってからは、販売情勢や各産地での取り組みを報告し、地元西土佐からは「遮熱ネット」を利用した高温対策の取組が紹介されました。今後は導入に向けた試験等行いながら、津野山地区でも暑さ対策として取り入れられたらと考えています。

役立つ！得する！情報 えいのう～

四万十地域より

施設園芸の「節油対策」について

冬場の重油代を少しでも低減するため、今のうちに加温機のメンテナンスや施設内の保温性向上技術等に取り組んでみませんか？

暖房機の缶体の掃除

A重油に含まれる不純物は燃焼後にカスとして缶体に溜まります。カスが多く缶体内に溜まると暖房機の熱効率の低下やバーナーの不完全燃焼の原因となります。また、長期間放置しておくと缶体の腐食を助長することがあります。熱効率を維持するため、また缶体を長持ちさせるためにも、1年に1回は、必ず缶体の掃除を行いましょう。

※暖房機についてはメーカーや種類によってメンテナンス方法が異なる場合があるため、暖房機に付属されている取扱説明書をよくご覧になり、適切な方法でメンテナンスを行ってください。

気密性の向上

温室の保温効果を高めるためには被覆面に隙間を作らないことが大切で、固定被覆資材や内張カーテンの隙間を少なくし、気密性を高めることは、経費をかけずにできる放熱を抑制する方法です。

被覆資材には経年劣化があり、水滴の落下（ぼた落ち）が発生するようになると、作物への悪影響が生じるようになりますので、被覆資材の状態を確認した上で定期的に更新することが必要です。

（1）外張被覆の点検

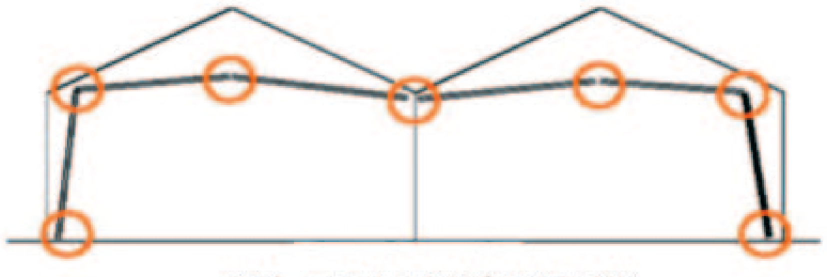
温室の隙間や破れからの放熱は日頃の点検で大部分を防ぐことができますので、見つけ次第すぐに対処して温室内の保温性を高めましょう。

（2）内張カーテンの点検

温室内に内張カーテンを展張することで温室の保温効果が一層高まります。

＜内張カーテンの点検・対策のポイント＞

下図のとおり、側面のカーテンの裾部、出入口付近や妻面、側面と天井面のつなぎ目、温室の谷間部の隙間を日頃から点検し、保温性を確保しましょう。



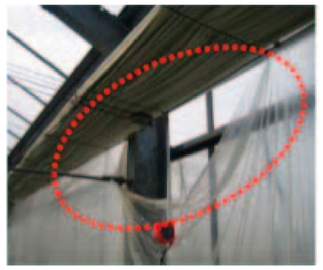
内張カーテンにおいて隙間ができやすい部分

＜内張カーテンの隙間（例）＞

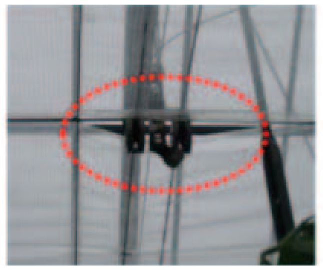
天井カーテンの隙間（妻面）

天井カーテンと側面カーテンのつなぎ目

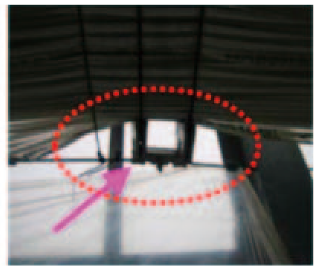
温室のコーナー部の隙間



肩部の垂れ下がりによる隙間



天井の滑車付近の隙間



肩部の滑車付近の隙間

◎お問い合わせ先：高西営農経済センター　営農指導課（TEL.0880−22−5179）

津野山地域より

ユズの害虫防除について

ユズの害虫であるカイガラムシ類、ハダニは越冬し、次年度に被害を与えることがあります。11 月以降、収穫が終わったほ場では害虫の防除対策を行いましょう。津野山ユズ部会では出荷先であるＪＡ馬路村の栽培基準に準じた栽培方法を行うため、化学的に合成された農薬及び肥料は使用できません。有機栽培に準じた栽培管理を行ってください。

使用できる農薬
ハーベストオイル
（※希釈割合にご注意ください）

カイガラムシ被害

冬期（12 月～3 月）	60 ～ 80 倍	200 ～ 700 ℓ ／ 10 アール
夏期（6 月～7 月中旬）	150 ～ 200 倍	200 ～ 700 ℓ ／ 10 アール

※ユズ防除に関するお問い合わせは
高西営農経済センター　津野山経済課（TEL. 0889−62−3501）までお願いします。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

かがよふて身の染まるほど稲穂波（いなほなみ）
早暁（そうぎょう）の目覚めを誘ふちちろ虫　市川　和美

この里に愛の深まる霧の海
旧友に遭ひたる想ひ茄子胡瓜　今橋　孝子

夕暮れて娘と歩く道柿たわわ
柿の実の熟して今日も孫ねだる　竹内　春猪

秋の夜亡き友偲び涙する
彼岸花山里静か華やげる　田中　信子

銀河濃し夜間飛行の二機よぎる
旱魃（かんばつ）に垂れぬ稲穂を刈りにけり　長谷部　延子

短歌

窪川短歌教室

よき短歌詠みて刻まん碑にみ墓に庭にわれの筆もて　宮﨑　英雄

殿様になったつもりでいたのかと言ってやりたいどこかの知事に　中内　佐登美

山あいに元気な声が戻りきて十六人の二学期始まる　竹田　和子

ゆうべにはその花たたむつゆ草の青が涼しも朝の裏山　市川　隆子

さっそくに包丁研がんいただきし鉄のかぼちゃに立ちむかわねば　黒岩　やよゑ

暗雲の胸にたゆたひ重々し雲なら雨と降りて晴れかし　市川　浩子

乱立の総裁選の顔ぶれに潔く正しくを守る人だれ？　北村　さち子

老いの日の楽しみのひとつ朝ドラで原爆裁判を改めて知る　島岡　紀美

雨雫物干し竿に煌めけり　９・１１追悼の朝　文野　見枝子

おたよりから

俳句

池（いけ）見つけ手を付けてみる秋の水　（津野町・弘瀬　秀頼）

JA 葬祭　ルミエール四万十

組合員の皆さまへ

芳名帳からカード型への変更

JA 葬祭ルミエール四万十では、通夜、葬儀の際、受付でお名前などをご記入いただく芳名帳が、これまでの冊子型からカード型に変更になりました。

個人情報の保護や、ご当家の管理のしやすさなどの観点から、カード型は全国的にも主流になっております。

参列者の氏名と住所が書かれた芳名カードは、葬儀後ご遺族がどなたに参列していただいたかを確認して、お礼状などを送付される際に必要となります。ご遺族が後でご覧になった時に困らないよう、はっきりと分かりやすく丁寧な文字で書くように心掛けたいですね。

※ご希望の方にはあらかじめご記入いただけるよう、事前にカードを複数枚お持ち帰りいただくことも可能です。

当社スタッフまでお声かけください。

※エンディングノート・事前相談・終活・ご葬儀に関するお問い合わせ
JA 葬祭ルミエール四万十（0880）22-5900